

令和3年7月期（令和3年1月17日～令和3年7月16日）決算短信

令和3年8月23日

ファンド名 MAXISトピックスリスクコントロール（10%）上場投信 上場取引所 東証
 コード番号 1574
 連動対象指標 S&P/JPX リスク・コントロール指数（10%）
 主要投資資産 投資信託証券
 売買単位 10口
 管理会社 三菱UFJ国際投信株式会社 URL <https://www.am.mufg.jp/>
 代表者名 取締役社長 横川 直
 問合せ先責任者 商品ディスクロージャー部 笠間 悦男 TEL (03)6250-4910

有価証券報告書提出予定日 令和3年10月15日
 分配金支払開始予定日 —

I ファンドの運用状況

1. 令和3年7月期の運用状況（令和3年1月17日～令和3年7月16日）

(1) 資産内訳 (百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計（純資産）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和3年7月期	17	(99.5)	0	(0.5)	17	(100.0)
令和3年1月期	16	(99.5)	0	(0.5)	16	(100.0)

(2) 設定・解約実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	解約口数(③)	当計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
令和3年7月期	10	—	—	10
令和3年1月期	350	—	340	10

(3) 基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	100口当たり基準価額 (③/当計算期間末発行済口数)×100
	百万円	百万円	百万円	円
令和3年7月期	17	0	17	173,404
令和3年1月期	17	0	16	167,907

(4) 分配金

	10口当たり分配金
	円
令和3年7月期	0
令和3年1月期	0

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

II 財務諸表等

(1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	第17期 [令和3年1月16日現在]	第18期 [令和3年7月16日現在]
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	461,845	111,507
投資信託受益証券	16,712,100	17,254,565
流動資産合計	17,173,945	17,366,072
資産合計	17,173,945	17,366,072
負債の部		
流動負債		
未払受託者報酬	40,640	2,835
未払委託者報酬	243,747	16,878
その他未払費用	98,903	5,915
流動負債合計	383,290	25,628
負債合計	383,290	25,628
純資産の部		
元本等		
元本	10,000,000	10,000,000
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（△）	6,790,655	7,340,444
（分配準備積立金）	△328,699	△239,402
元本等合計	16,790,655	17,340,444
純資産合計	16,790,655	17,340,444
負債純資産合計	17,173,945	17,366,072

（2）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第17期		第18期	
	自	令和2年7月17日 至 令和3年1月16日	自	令和3年1月17日 至 令和3年7月16日
営業収益				
受取配当金		43,546		114,925
受取利息		1		-
有価証券売買等損益		7,268,426		460,492
営業収益合計		7,311,973		575,417
営業費用				
支払利息		85		-
受託者報酬		40,640		2,835
委託者報酬		243,747		16,878
その他費用		106,480		5,915
営業費用合計		390,952		25,628
営業利益又は営業損失（△）		6,921,021		549,789
経常利益又は経常損失（△）		6,921,021		549,789
当期純利益又は当期純損失（△）		6,921,021		549,789
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（△）		-		-
期首剰余金又は期首欠損金（△）		182,667,234		6,790,655
剰余金減少額又は欠損金増加額		182,797,600		-
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		182,797,600		-
分配金		-		-
期末剰余金又は期末欠損金（△）		6,790,655		7,340,444

（3）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
--------------------	--

（重要な会計上の見積りに関する注記）

第18期 [令和3年7月16日現在]

当計算期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが当計算期間の翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。

（貸借対照表に関する注記）

	第17期 [令和3年1月16日現在]	第18期 [令和3年7月16日現在]
1. 期首元本額	350,000,000円	10,000,000円
期中追加設定元本額	—円	—円
期中一部解約元本額	340,000,000円	—円
2. 受益権の総数	10,000口	10,000口

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

第17期 自 令和2年7月17日 至 令和3年1月16日	第18期 自 令和3年1月17日 至 令和3年7月16日																																																												
<p>1. その他費用 上場費用および商標使用料等を含んでおります。</p> <p>2. 分配金の計算過程</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当期配当等収益額</td> <td>A</td> <td>43,462円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>B</td> <td>18,706円</td> </tr> <tr> <td>配当等収益合計額</td> <td>C=A+B</td> <td>62,168円</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td>D</td> <td>390,867円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=C-D</td> <td>—円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>F</td> <td>—円</td> </tr> <tr> <td>次期繰越金(分配準備積立金)</td> <td>G=E-F</td> <td>△328,699円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>H</td> <td>10,000口</td> </tr> <tr> <td>100口当たり分配金額</td> <td>I=F/H*100</td> <td>—円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			当期配当等収益額	A	43,462円	分配準備積立金額	B	18,706円	配当等収益合計額	C=A+B	62,168円	経費	D	390,867円	当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	—円	収益分配金金額	F	—円	次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	△328,699円	当ファンドの期末残存口数	H	10,000口	100口当たり分配金額	I=F/H*100	—円	<p>1. その他費用 上場費用および商標使用料等を含んでおります。</p> <p>2. 分配金の計算過程</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当期配当等収益額</td> <td>A</td> <td>114,925円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>B</td> <td>△328,699円</td> </tr> <tr> <td>配当等収益合計額</td> <td>C=A+B</td> <td>△213,774円</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td>D</td> <td>25,628円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=C-D</td> <td>—円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>F</td> <td>—円</td> </tr> <tr> <td>次期繰越金(分配準備積立金)</td> <td>G=E-F</td> <td>△239,402円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>H</td> <td>10,000口</td> </tr> <tr> <td>100口当たり分配金額</td> <td>I=F/H*100</td> <td>—円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			当期配当等収益額	A	114,925円	分配準備積立金額	B	△328,699円	配当等収益合計額	C=A+B	△213,774円	経費	D	25,628円	当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	—円	収益分配金金額	F	—円	次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	△239,402円	当ファンドの期末残存口数	H	10,000口	100口当たり分配金額	I=F/H*100	—円
項目																																																													
当期配当等収益額	A	43,462円																																																											
分配準備積立金額	B	18,706円																																																											
配当等収益合計額	C=A+B	62,168円																																																											
経費	D	390,867円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	—円																																																											
収益分配金金額	F	—円																																																											
次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	△328,699円																																																											
当ファンドの期末残存口数	H	10,000口																																																											
100口当たり分配金額	I=F/H*100	—円																																																											
項目																																																													
当期配当等収益額	A	114,925円																																																											
分配準備積立金額	B	△328,699円																																																											
配当等収益合計額	C=A+B	△213,774円																																																											
経費	D	25,628円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	—円																																																											
収益分配金金額	F	—円																																																											
次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	△239,402円																																																											
当ファンドの期末残存口数	H	10,000口																																																											
100口当たり分配金額	I=F/H*100	—円																																																											

（金融商品に関する注記）

1 金融商品の状況に関する事項

区分	第17期 自 令和2年7月17日 至 令和3年1月16日	第18期 自 令和3年1月17日 至 令和3年7月16日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、投資信託受益証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。	同左

<p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p>	<p>す。 ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。</p>	<p>同左</p>
--------------------------	--	-----------

2 金融商品の時価等に関する事項

区分	第17期 [令和3年1月16日現在]	第18期 [令和3年7月16日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありませぬ。	同左
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券	(1) 有価証券
	売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。	同左
	(2) デリバティブ取引	(2) デリバティブ取引
	デリバティブ取引は、該当事項はありません。	同左
	(3) 上記以外の金融商品	(3) 上記以外の金融商品
	上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種類	第17期 [令和3年1月16日現在]	第18期 [令和3年7月16日現在]
	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)
投資信託受益証券	1,574,594	459,544
合計	1,574,594	459,544

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	第17期 [令和3年1月16日現在]	第18期 [令和3年7月16日現在]
1口当たり純資産額 (100口当たり純資産額)	1,679.07円 (167,907円)	1,734.04円 (173,404円)

(追加情報)

第17期 自 令和2年7月17日 至 令和3年1月16日	第18期 自 令和3年1月17日 至 令和3年7月16日
—	当ファンドは、信託約款に基づき信託契約の解約を行うことを令和3年6月2日付で社内規定に基づき決裁しました。当ファンドは令和3年10月12日に償還します。